



平成 28 年 2 月 5 日

各 位

会 社 名 日本アジア投資株式会社  
代表者の役職名 代表取締役 細窪 政  
(コード番号 8518 東証一部)  
問 い 合 せ 先 常務取締役 下村哲朗  
T E L 03(3259)8518

## 投資先アクセスブライト 東映アニメーションと共同開発した 初の中国市場向けスマートフォンゲーム『ロボットガールズ Z』 の中国配信開始

この度、日本アジア投資株式会社(以下 当社、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:細窪 政)の投資先であり、当社がその成長を支援する株式会社アクセスブライト(以下 アクセスブライト、本社:東京都港区、代表取締役:柏口之宏)は、東映アニメーション株式会社(以下 東映アニメーション)との共同事業による初の中国市場向けスマートフォンゲーム『ロボットガールズ Z』の中国での配信を開始しました。

アクセスブライトは、日本のアニメやゲームコンテンツの中国展開をサポートするベンチャー企業です。中国のスマートフォン向けゲームの市場規模は、2015 年には 8,000 億円を超え、日本の市場規模を上回る見込みです。急速に拡大する中国市場に向けて、アクセスブライトは、2011 年 9 月より『クレヨンしんちゃん』や『ハローキティ』など日本のスマートフォン向けゲームや『AKB0048』などの映像コンテンツ・関連商品を中国市場向けにローカライズし、中国市場進出および現地での制作・配信をしています。

本作は、「ロボットガールズ Z」(漫画家・永井豪先生の「マジンガーシリーズ」を中心に数多くのスーパーロボットを擬人化、美少女化したアニメ)という同名アニメからゲーム化されたアクションロールプレイングゲームです。森山義秀アニメプロデューサーをはじめ、東映アニメーションのスタッフとアクセスブライトのゲーム開発スタジオが共同で、原作の魅力と世界観をそのままに、ゲームの世界観、ステージ、キャラクター設定などを練り上げました。また、中国でのテストユーザーの声を反映し、プレイヤー同士が対戦できる機能を新しく導入するなど改良を加えており、中国市場への徹底した調査を踏まえ、中国のゲームユーザーに支持されるよう開発されています。

また、アクセスブライトにとっては、日本のゲームのローカライズではなく、東映アニメーションとの初の共同開発により、同社の監修を受けながらゼロから開発したスマートフォン向けゲームとなります。

JAIC グループは、2013 年 3 月にアクセスブライトに投資実行し、同社の主要投資家として、同社と共にその事業拡大を進めています。

JAIC は今後も、同社のような成長性の高い企業に投資を行い、その成長を支援してまいります。



株式会社アクセスブライト 会社概要:

会社名:株式会社アクセスブライト

本社 :東京都港区

設立 :2011年9月

代表者 :柏口 之宏

事業内容:中国におけるスマートフォンゲームの企画・開発・配信・運営、  
アニメのテレビ放送・インターネット配信、映画の製作・配給、グッズ制作・販売

URL(日本):<http://www.accessbright.com/>

URL(中国):<http://www.tyyouxi.com/>

以上